

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム
平成 30 年度第七回企画運営委員会議事概要

【日時】 2018 年 12 月 6 日（木）12 時 00 分から 12 時 50 分

【場所】 情報科学 C 棟 401 室

【出席（敬称略）】 清水（委員長・情）、尾上（情）、井上（情）、藤原（情）、若宮（情）
谷田（情）、原（情）、松下（情）、難波（生）、藤田（生）、細田一（情）
中野（生）、EUM（情）、津田（情）、マハズーン（基）

【遠隔参加】

【事務局】 森川（情/事務長）、鐘ヶ江（情/大学院係長）、徳野（情/部門事務局長）
谷川（情/部門事務）、井汲（情/部門事務）、嘉村（情/部門事務）
上田（情/部門事務）、森田（情/部門事務）

【欠席（敬称略）】 村田（情）、増澤（情）、石黒（基）、細田耕（基）、大澤（生）、平岡（生）
八木健（生）、柳田（生）、近藤（生）、松岡（サイバー）、楊（情）

配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。（パスワード：HWinnovation）

議題

(1) 教務委員会（資料あり）

- 教務活動の現状について報告があった。
1 年次の講義でアイデアソンを実施し、今年から動画と資料を産学企業へ配付した。
2 年次アウトリーチの一部として OACIS シンポに参加。
12 月には学内向けのアウトリーチを実施予定。
HW 価値創造実践講義に関連して、新規にクラウドファンディングを立ち上げる
こととして進めている。
- 第 2 回学生アドバイザリを実施。学生からの報告に対して、Adv1,2,3 から評価提出済み。Pre-QE、R-QE 学年については予備評価となる。
- 最終試験の予備審査を実施。最終試験に臨む 16 名についての評価結果および最終審査要件の状況について報告があり、合格または条件付き合格として本審査に進めてよいかをそれぞれ修了要件に基づいて確認した。
1 名の要再審査学生については、申請書の再提出とそれによる再評価の後、本審査までに可否を決定することとした。
また、評価が未回答の主査・副査からは回答をいただき、その評価を本委員会構成員に周知することにした。

- R・QE 審査を予定する四期生 10 名については、第 2 回学生アドバイザー委員による予備審査の結果、全員について問題がなかった。
- 修了生に係る調査があった。修了生からの回答では、予想以上の現所属での格付けや学会・論文等優秀な成果が見られた。

(2) リーディング大学院選抜委員会（資料あり）

- 12 月 3 日(月)に Pre-QE を 1 年次 15 名について実施（2 室同時に各室 5 名の選抜委員で審査）。全員を合格とした旨の報告があり、これを了承した。

(3) 海外連携委員会（資料あり）

- 今年度のインターンシップ状況について、特に問題なく進んでいる旨の報告があった。
- 海外短期渡航派遣状況の報告があった。

(4) 産学官連携委員会（海連との共通資料あり）

- 報告事項等なし

(5) 広報企画委員会（資料あり）

- 12/20 の企業との交流会には HW 履修生 21 名、他リーディング履修生 6 名の全 27 名が参加。
企業の参加を現在募集中。
- プログラム HP に企業向けページを開設。これと並行して、来年度に本プログラムに係る未来基金の立ち上げを予定している。
- 12/4 リーディングフォーラムに履修生 4 名、津田特任准教授が参加。
津田特任准教授から、リーディングの総括に関する講演の内容について報告があった。（その他 1 資料 参照）
- 来年度選抜に関する説明会を 12 月 12 日実施予定。対象学生への案内送付済。

(6) その他

- 事後評価ヒアリングについて（清水教授 資料なし）
11 月 21 日に総長、小林理事、尾上研究科長、清水教授が事後評価ヒアリングを受けた。
好意的な質問が多く、無事終了した。
結果の内示は 1~2 月で、確定は 2~3 月。

- 国際アドバイザー委員会および交流会について（清水教授 資料なし）
3月18日に事後評価結果についての報告や修了者（2期生）との交流等を目的に、国際アドバイザー委員会を開催することとなった。
今後、国際アドバイザー委員や学外委員に参加を呼びかける予定。

次回：2月7日（木） 12:00-13:00 情報科学研究科 C棟 4階 C401